



2017-18年度ガバナー

神野 重行

Weekly Report



ロータリー:
変化をもたらす

2017-18年度RIテーマ

例会日 第一・第三木曜 12:20-13:30
事務局 〒460-0008 名古屋市中区栄1-22-16 ミナミ栄ビル402
TEL 052-253-7821 / FAX 052-253-7820

例会場 ウェスティンナゴヤキャッスルホテル TEL 052-521-2121
〒451-8551 名古屋市中区樋の口町3番19号

第15回例会

2017年8月3日(木)

司会進行 野村 治
国歌斉唱「君が代」
「それこそロータリー」唱和

会長挨拶

酒井俊皓会長



皆さんこんにちは。猛暑が続いていますので、お体には充分留意してください。

ところで皆様は、「気候」の語源をご存知ですか。おそらく「二十四節気(にじゅうしせつき)」については耳にされたことがあると思います。立春とか大寒などと言われているものです。

二十四節気は、太陽の黄道をもとに一年を半月ごとに区切って季節の変化を示しています。これをさらに約5日おきに分けて、気象の動きや動植物の変化を知らせるのが七十二候(しちじゅうにこう)です。

いずれも古代中国で作られましたが、七十二候については、江戸時代に入って日本の気候風土に合うように改訂され「本朝七十二候」が作られました。現在、使われているのは、明治時代に改訂された「略本暦」のもので、もうお分かりだと思いますが、「気候」は、この「節気」と「候」からできたものです。

こういった情緒ある感性を持った先祖を持ち、四季のある国に生まれたことに、歳をとったせいも、最近は特に感慨深く思っています。

現在は、二十四節気の「大暑」で、昨日(8月2日)から七十二候の「大雨時行(たいうときどきふる)」に入りました。この意味は、読んで字のごとく「ときどき大雨が激しく降る」ということで、まさに季節感をよく表していると思います。もっとも、最近のゲリラ豪雨までは当時の人々は、想定はしていなかったでしょう。

いずれにしても、昨今の世界的な異常気象を見聞きするたびに、人類や地球の持続可能性について、我々は、もっと考えなければならぬと思います。排ガス問題、乱開発等々、我々が、身近でできることはいろいろあると思います。例えば、ゴルフ場の往復を4人で相乗りするとかなど少し工夫すれば結構あるものです。RI会長も地球環境のために植樹をするよう奨励しています。是非、皆さん一人一人が我が家の我が町の日本の地球の環境保全につきアクションを起こしましょう。

出席報告

河合秀紀出席・ニコボックス委員長

	会員数	出席数	出席率
当日	42	28	66.6%
前回	42	32	76.2%

ニコボックス

河合秀紀出席・ニコボックス委員長

いいこといっぱいあったので！！

ゴルフコンペ優勝してしまいました。

ありがとうございます。

遠山さん卓話ありがとうございます。

宮の杜ロータリーの卓話第一回目を

させていただきます。

横田成人

高木俊郎

酒井俊皓

遠山堯郎

第15回例会を祝して

浅野信 浅野慎之 出口茂 樋口昌男
河合秀紀 河村直樹 牧野敬充 水野紀孝
奥村与幸 佐野洋一郎 菅原浩昭 鈴木達央
田中吉彦 山城徹也 山下智己 安田保

幹事報告

加藤謙一副幹事

・8月ロータリーレート 1\$ = 111円

・夏季休暇について

ガバナー事務所 8/11~17

当クラブ事務局 8/11~15

・地区資金・人頭分担金を7/31に正会員42名分で送金しました。

・17-18年度上期会費の請求書を8月末日で送付いたしました。

・地区大会について

日時: 11/19(日)10時~17時 出席義務者: 当クラブ全会員

昨日メールにて案内しております。出欠回答をお願いします。

・本日、例会後に理事会を1時間程予定しております。

・次回例会8/17 12:20~@ウェスティン3階「松竹の間」

例会後1時間程クラブアッセンブリーを予定しております。

委員長の方はご調整お願い致します。

・クラブ計画書を配布しております。熟読お願い致します。

・ロータリーの友8月号P.12に当クラブについて記載されております。

卓話「米山記念奨学会とは！寄付がなぜ必要

なのか！寄付金は！」 遠山堯郎会員

最初に、この7月1日、ロータリー米山記念奨学会は財団設立50周年を迎えました。米山記念奨学会将来、奨学生が母国と日本の架け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的にしています。経緯は東京RCの加盟認証が、1920.10.20-1940.09.11に解散、1946年に復帰運動開始、今までの水曜クラブ(RI脱会前の東京RC)を解散して、1949.3.20に再び国際ロータリーの加盟認証を受けて復帰した。2020年12月20日は、100周年式典が開催される。東京ロータリーは、日本のRCの生みの父と言われる「米山梅吉翁(1868-1946)がアジアの留学生の面倒を見ていた遺志を受け継ぎ、「無形の金字塔」にしたいと考えたのが理由です。

理由は「二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したい」という、当時の会員たちの強い願望の結果です。その構想発表から5年を待たずしてクラブの単独事業から全地区ロータリーの合同事業に発展しました。1967年には財団法人設立、2012年1月に公益財団法人として新しいスタートを切りました。この財団の財源はすべてが、ロータリアンの他、企業などの寄付で成り立っています。そして国際ロータリーが定めた手続きを完了した日本全国の合同プロジェクトです。2015-16年度には、有価証券を寄付として受けられるように定款を変更して2017年3月に坂本ドネーション・ファウンデーション(株)から5,256万円の寄付を拝受しています。民間の国際奨学事業としては国内最大です。

世界で121の国から留学生が集まっています。年間の奨学生採用数は、約700人前後でしたが前出の寄付により、今年度は800人に回復です。

その選考方法は、米山記念奨学会の厳しい試験があります。愛知県の場合は申込指定校が120あります。奨学生のカウンセラー制度があって、奨学生の世話クラブであるロータリークラブの例会やイベント、奉仕活動などに参加して、大学では得ることができない「出会いと交流」を通じ日本人の心、平和を求めるロータリーの心を学びます。

2017年6月現在、累計125の国と地域で、19,810人の奨学生・学友は日本の懸け橋となって、この世界を支える一人になっています。

現在、米山学友会は国内に23、海外に9つあります。身近では、台湾、中国北京、モンゴルなどです。

事業の成果はどうかと申しますと世界中のいたるところに「米山家族」がいます。その家族とは日本を理解して、ロータリーの究極の目的である平和のために力を尽くそうとする学友がいます。

あるアメリカ人学友はパレスチナに30年ぶりに復活したRCの創立例会に奔走しました。また、中国の大学で日本語を教えている学友は、半日デモの最中にも普段通り日本語の授業を行っています。未来の懸け橋となる若者たちに本当の日本を伝えています。この「人づくり」がこの奨学事業の目的です。

その成果は学友の活躍という形で確実に実りの時を迎えています。

では、奨学金の種類と特徴はと言いますと、簡単な数字は学部課程が月額10万円・修士課程が月額14万円・博士課程が月額14万円最長2年間です。

2014年9月9日2760地区学友会総会が開催されました。第2760地区米山学友会会長・林 瑠さんの挨拶の一部を紹介します。

「我々は留学生のときに、ロータリアンの皆様からの温かい応援と奨学金のおかげで、各世話クラブとカウンセラー制度で人生の土台作りができ、無事に学業が終了することができました。今それぞれトヨタ自動車、日産自動車、三菱自動車工業、デンソー、アイシン精機、富士通、シャープ、天野エンザイム、ブラザー工業などの会社に勤める学友もいれば、名古屋大学、南山大学、愛知大学、愛知淑徳大学、椋山女学園大学、愛知学院大学、藤田保健衛生大学などの大学、研究機関の教授・研究者、ほかに自ら事業を起こし会社のオーナーになった学友もいます。皆はロータリーに育てられ、米山奨学金を頂いたお陰で立派に成長し、それぞれの職場で活躍し・社会奉仕を続けながら社会に恩返しをしています。学友のもう一つの重要な役割は母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍することです。今後ロータリー米山奨学事業のため、世界平和のために何が出来るかを具体的に案を出しあい、お互いに好意と友情を深めて、いかに学友会の活躍範囲を広げることが私達の課題です。」

IDMについて

第1回IDM

テーマ：未定

日時：8月31日(木) 18:00～21:00

会場：Anu GOLFBASE&CAFÉ(アニュー) (丸の内)

次回例会

第17回通常例会

卓話：未定

卓話者：未定

日時：9月7日(木) 12:20～13:30

会場：ウェスティンナゴヤキャッスルホテル3階